



主催：NPO法人築地居留地研究会 後援：東京都中央区  
2024年3月度定例研究報告会

テーマ：『東京のチェコスロヴァキア軍団兵士たち-1918年／大正7年』

1918年（大正7年）8月2日付けの日本政府によるシベリア出兵宣言は、「チェコスロヴァキア軍救援」を大義名分として掲げていた。それとの関連で、同年9月と10月に二陣に分かれて、ルスキー島（ウラジヴォストーク）のアメリカ赤十字病院に收容されていたチェコスロヴァキア軍の負傷兵の一部が、日本に移送されて、東京・築地の聖路加国際病院で治療を施された。本発表では日本側の新聞報道と、軍団が当時ロシアで刊行していた『チェコスロヴァキア日刊新聞』に掲載された記事を突き合わせることで、この忘れられたエピソードを再現してみたい。

参考文献：長與 進『チェコスロヴァキア軍団と日本』（教育評論社、2023年）



Čechoslováci před americkou nemocnicí v Tokiu

「東京のアメリカ病院の前のチェコスロヴァキア人」  
オールドジフ・ゼメク『世界の戦火をくぐり抜けて』  
（プラハ、1929年）に掲載



「日本の病院でのチェコスロヴァキア義勇兵たち」  
スロヴァキア国民文書館（ブラチスラヴァ）所蔵

講師：長與 進 氏 早稲田大学名誉教授

日時：2024年3月23日（土）  
14:00～16:00

場所：カトリック築地教会 2階ホール

講演聴講：無料 一般公開 予約不要  
どなたでも聴講できます。

お問い合わせ先：03-3551-759



長與 進 氏

# カトリック築地教会へのアクセス

中央区明石町5-26



地下鉄にてご来場の場合

- ・ 新富町（地下鉄有楽町線）駅6番出口から徒歩5分
- ・ 築地（地下鉄日比谷線）駅3番出口から徒歩6分